



SKエンジニア社製

移動できる

梱包資材ゴミの

収集・圧縮減容・一時保管コンテナ

SK40 (手動プレス式)

倉庫や店舗内に散らかったり、山積みになっている
梱包資材ゴミを整理・整頓できます。

最適使用場所

- ・スーパーマーケット
- ・ショッピングセンター
- ・デパート
- ・ホームセンター
- ・流通センター
- ・倉庫
- ・各種工場
- ・小売店
- ・オフィス



特徴

- ① 商品を入荷する時や棚に整理する時に発生する梱包資材ゴミは、かさばり移動しづらいゴミです。そのゴミを手動プレスを使ってコンテナ内で最大80%圧縮減容できます(圧縮後の体積約0.2立方メートル、重量45kgまで)。
- ② 圧縮減容した梱包資材ゴミはコンテナ内に一時的に保管できますので、今まで使っていた梱包資材ゴミの一時保管場所の省スペース化が図れます。
- ③ コンテナが満杯になった時点で、コンテナ内で崩れ防止用のPPヒモを結束してから、取り出し、産廃処理業者に廃棄処理またはリサイクル処理をしてもらいますが、圧縮減容したことにより、処理及び付帯費用が最大50%削減できます。(コンテナを数台用意して分別収集することで、リサイクル処理がしやすくなります。)

梱包資材ゴミの種類

- ・ ストレッチフィルム
- ・ ビニール袋
- ・ 紙袋
- ・ 包装紙
- ・ 巻ダンボール
- ・ 紙箱/カートン箱
- ・ 軽量ダンボール箱
- ・ エアークッション/エアーキャップ



電話
フ



SK40の主な仕様

コンテナ有効容量	0.215m ³ (215リットル)
コンテナ最大荷重	45kg
コンテナ内寸	巾59cm x 奥行59cm x 有効高さ62cm
コンテナ外寸	巾65cm x 奥行63cm x 高さ78cm
本体外寸	巾80cm x 奥行102cm x 高さ123cm (オープン時高さ195cm)
本体重量	125kg
PPヒモ掛け本数	前後3本 左右2本

SK40は様々な梱包資材ゴミを圧縮減容することができます。



梱包資材ゴミを投入する前に結束用のPPヒモ(5本)をセットしておきます。また、ダンボールを底に敷いて置きますと、圧縮したゴミが崩れにくくなります。梱包資材ゴミをコンテナが満杯になるまで、投入します。



梱包資材ゴミが満杯になりましたら、SK40のハンドルを押し下げ、圧縮します。SK40の手動プレス機構はそれほど力をかけなくても十分に圧縮減容できます。圧縮ができなくなるまで、コンテナの空いた空間に繰り返し梱包資材ゴミを投入し、圧縮します。



コンテナが圧縮された梱包資材ゴミで満杯になりましたら、ゴミの上に崩れ防止用のダンボールを載せ、ハンドルを下げ、PPヒモで5ヶ所結束します。それから、ハンドルを引き上げ、前のトビラを開けます。



SK40の後ろ側に回り、後ろのトビラを開け、結束されたゴミを足で押し出します。



SK40は後ろ側に回り、後ろに傾け、車輪を使って動かすことができます。



SK Engineers

SKエンジニア社輸入販売代理店
テクノツールズ株式会社
 〒208-0035 東京都武蔵村山市中原 1-30-10
 tel.: 042-569-1502 fax.: 042-569-1572
 URL: <http://www.techno-tools.co.jp>

お問い合わせは ---